


よしこさん けいこさんとれいこさんの 活動日誌

このコーナーは、食育などを通じた女性農業委員の活動を紹介します。



今年も稲刈りが終わり、一年が過ぎるのが早いなど思っています。農業委員とは何か？よく聞かれることがあります。新しく委員になった池澤さん、摩庭さんもそうです。女性農業委員は男性農業委員と同じく毎月総会出席したり、それとは別に女性農業委員を対象にした研修会などに出席し、担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の農地利用の最適化を主たる使命として活動しています。

これから取り組んで行きたいこ

とは、食農教育です。田んぼや畑に出て、どんな種子を蒔いて育つのか、どんな虫がいるのか？子どもたちや農業を知らない若者たちに教えていきたいと思っています。

今回は、中原にあるキャンプ場、ハーモニーヒルズさんの協力のもと、仙台と茨城から来ていた若者たちと一緒に、隣の久美さんと摩庭さんとかぼちやまんじゅうを作りました。

先生は炭酸まんじゅう作りの上手い渡辺賀代子さんに教えていただきました。


材料には、地元で取れた小麦粉とかぼちやを使いました。耳たぶくらいの硬さに生地をこね、中にあんこを入れてまるめ、15分蒸かすとできあがりです。かまどで薪を焚いて蒸かしました。

かぼちやまんじゅうを初めて作った若者たちは、とても上手くできた出来上がりを楽しんでいると言いつつ、ながら頬張っていました。

最近、年少少女の凶悪な事件が多いですね。いのちを大切にすることが大切です。農村には生き物がたくさんいます。牛、豚、鶏など簡単な農作業で可愛さは伝わり、心豊かになります。

育てていてどんなに可愛くても、やがて人間の食料になるといいういのちの意味を知ること大切だと思います。

かぼちやまんじゅうを作ってみよう



■材料 (約30個分)

薄力粉	1kg
砂糖	300g
かぼちゃ	700g
ベーキングパウダー	20g
重曹	20g
牛乳	300cc
卵	2個
あんこ	1kg
サラダオイル	大さじ2
しょうゆ	大さじ2



編集後記

編集委員長 大島 芳子

今年には三年に一度の農業委員改選により新しい体制が整い、始動しているところです。

夏には日本各地で大雨の土砂災害などが起きて自然災害の恐ろしさに驚いています。

夏野菜はとてもおいしく、ナス、トマト、きゅうり、オクラなどが採れてうれしい反面、雑草との戦いになりました。これから秋野菜の収穫が楽しみです。山には動物の食べる餌が少なくなったせいか、熊や猿などによる農作物の被害が増えています。

気候や環境の変動等影響を受けながらも、より安全安心な暮らしができるよう祈りつつ、農業委員会も前進に努めて参りたいと思います。委員会だより発行のためご協力いただいた皆様方、ありがとうございます。より一層親しまれる広報紙を目指し、皆様のご意見、ご感想、情報等をお待ちしております。

- 編集委員長 大島 芳子
- 編集委員 高柳 文浩
- 大平 康市
- 松浦 一雄
- 摩庭 令子
- 池澤 敬子